

第5回 “ふるさと若槻” ふれあいコンサート



10月25日(日)に清泉女学院大学・短期大学の体育館において、徳間小学校、若槻小学校、北部中学校、市立長野高校、国立長野高専の皆様に参加していただき、第5回“ふるさと若槻”ふれあいコンサートが盛大に開催されました。

若槻地区内の学校の合唱・吹奏楽クラブやプロ演奏家等が一堂に会し、音楽を通じて地域の絆を深めることを目的に年1回実施し、今年で5回目を迎えました。

各校の合唱や楽器演奏のほか他校とのコラボレーションによる演奏もあり、子どもたちの澄み渡る歌声と、情熱のある演奏を楽しみ、おだやかで心豊かな素敵なひとときを過ごすことができました。また、今年はゲスト演奏として、ともに長野市出身のファゴットの丸山佳織様とピアニストの坂原美菜様をお招きしました。観客はプロの美しく染み渡る演奏にうっとりとして聞き入っていました。

コンサートの準備から運営まで多くの方々に携わっていただき、無事終了することができました。関係者の皆様、ありがとうございました。

♪♪♪ (ふれあいコンサート実行委員会)



北中合唱部のジブリメドレー



徳小金管バンドと高専吹奏楽部のコラボ



ゲスト演奏

子ども科学体験教室 ～盛大に開催～

青少年部会は、若槻地区の育成会・PTAとともに11月8日(日)に「子ども科学体験教室 サイエンスショー」を国立長野高専で開催しました。今年は長野高専 古川研究室の出前講座「ふしぎ? 科学マジック」をテーマに、会場となった教室には若槻の子どもたちや家族らが椅子が足りなくなるほど集まりました。

科学マジックは「ぜったい光らない電球」「超能力ふりこ」「恐怖の水中脱出」「割れない風船」「念力で沈む魚」「空気の接着剤」「おどるマッチ棒」「水がワインに変身」などの科学を使った不思議で楽しいマジックに子どもたちはびっくり仰天。「不思議!! なんて??」と次々に子どもたちから声が上がりました。講師の古川先生から 酸性・アルカリ性、形状記憶合金などの種明かしを丁寧に説明された子どもたちは「理科って面白い」「簡単にマジックができるなんてすごい!!」と目を丸くしていました。

中でもゴムの弾性を利用した「割れない風船」マジックでは、実際に子どもたちにもマジックを体験してもらおうと先生からやり方を教わりました。子どもたちは、おそろおそろ風船に竹串を刺し、成功した子どもたちは割れずにいる風船を見て不思議そうな顔をしていました。また、自分にも出来た! とあちらこちらで嬉しそうな声が上がりました。

科学マジックのあとは、国立長野高専の卒業研究として生徒が作った「楽しんでもらう科学おもちゃ」の展示会場に移動し高専生からおもちゃの使い方の説明を受けました。おもちゃに自由に触れながら科学体験を楽しみ盛り上がりしました。

最後に子どもたちは、ジュースやお菓子、家で出来る科学マジック部品などのお土産をもらい大切に持ち帰りました。

(青少年部会)

